

# 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 研修内容と到達目標

研修プログラム: 科目一覧

2022.9.13

A: 知識獲得プログラム

B: 基礎技術シミュレーションプログラム

C: 臨床トレーニングプログラム

D: 臨床研修プログラム

1コマ: 60-90分

【必須】: 必須科目を含む8日以上プログラム受講者が修了書を取得できます。

●: 技術トレーニングを含む講義です。

新型コロナウイルス感染対策により講義内容が変更になる場合があります。

A 知識獲得プログラム		オリエンテーション	A1 歯科衛生士としての基本姿勢と態度 コミュニケーション(グループワーク)【必須】	A2 生体機能管理技術【必須】 バイタルサイン	A3 全身疾患と口腔衛生管理【必須】
		歯科衛生士として必要な基本姿勢と態度を身につける。 主体的な自己学習を計画できる。 自己の学習内容を見つける。 自己の課題に向けて、必要な情報を収集し解決に向けて行動する。	歯科衛生士としての自覚と責任ある行動する。 職場でのコミュニケーションスキルとストレスマネジメントについて身につける。キャリア形成に関する考察をする。チーム医療の役割について理解する。	バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)を正確に測定する技術を身につける。 バイタルサインの基礎的知識を理解する。	全身疾患(糖尿病、心疾患、脳梗塞、がん)の病態や治療法を全身疾患と口腔内状態、歯科疾患との関係について理解する。
	A4	リラクゼーション技法【必須】	A5 カウンセリングスキル【必須】	A6 医療安全管理【必須】	A7 ●救命救急処置技術【必須】
		リラックスするための呼吸法および自律訓練法等について実施する。補完代替療法のリラクゼーションについて口腔を用いたリラクゼーションの臨床的活用方法を理解する。 患者中心のサービスであることを認識する。 歯肉マッサージについて理解する。	他者との関わりを受容的・共感的態度で接する。 歯科心身症患者について説明する。 カウンセリングマインドを身につける。 医療職間で信頼関係を築き、協働する。	医療安全管理指針、医療事故防止と対応、規定に沿った医療廃棄法について理解する。 病院、診療所と在宅診療における医療安全管理上の注意点について理解する。	意識レベルの把握、気道確保・人工呼吸、閉鎖心臓マッサージの技術を習得する。 緊急時の応援要請法について学ぶ。
	A8	口腔機能低下症	A9 感染予防技術	A10 全身管理と周期等の口腔管理	A11 フッ化物局所応用実習
		加齢や疾患に伴う口腔機能低下のメカニズムを理解する。 口腔機能向上に関する歯科衛生士の役割を理解する。	洗浄・消毒・滅菌法とその選択について、無菌操作および標準予防策の実施、感染対策用防護用具(手袋・ゴーグル・ガウン等の選択と使用方法)について理解する。	がん患者における支持療法について理解する。 術後の回復期・維持期等における口腔管理法について知る。	フッ化物の基礎知識と取り扱い時の注意点を知る。 知覚過敏抑制剤(MSコート、ジェル等)を含めて、知覚過敏予防法・対処法について理解する。 フッ化ジアンミン銀の効果と塗布法を理解する。
	A12	口腔衛生指導	A13 禁煙支援	A14 集団指導(妊婦教室見学)	A15 歯科衛生過程
		口腔清掃用具について理解する。 個別の口腔内や生活背景、リスクに応じた指導法についてグループワークを通して考える。	タバコが全身や口腔内に及ぼす影響について理解する。 対象患者のアセスメント、禁煙ステージ、禁煙サポートの重要点について学ぶ。	大学病院の産婦人科外来で、歯科衛生士が行う妊婦と子供の歯科衛生に関する歯科保健指導を理解する。 地域における集団指導の役割りと活動方法について知る。	歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 歯科衛生アセスメント・歯科衛生診断・歯科衛生計画立案・歯科衛生介入・歯科衛生評価・歯科衛生記録について理解する。
A16	唾液検査方法	A17 医療英語	A18 在宅訪問における高齢者の栄養管理		
	唾液の分泌量とpHおよび唾液緩衝能、齲蝕原因菌(SM菌、LB菌)、歯周病原菌などの各種検査法を理解する。	医療現場で外国人患者さんに対応できるように基礎的な英語力・英会話能力を学ぶ円滑なコミュニケーションを図ることを修得する。	在宅訪問時に管理栄養士との連携により、フレイル予防や栄養状態の維持増進を目指した生活の質の向上および行動変容の事例について学ぶ。		
B 基礎技術シミュレーションプログラム	B1	●歯周治療の流れと歯周組織検査: 歯周組織検査技術演習(マネキン実習)	B2 ●SC(スケーリング): 歯周疾患予防技術演習(マネキン実習)【必須】	B3 ●SRP(スケーリング・ルートプレーニング): 歯周疾患重症化予防技術演習(マネキン実習)【必須】	B4 ●シャープニング: 歯周疾患予防技術演習
		歯周病治療の基本的な流れを理解する。 歯周組織検査の種類・方法を理解する。 プローブの把持法、プロービング圧、ポケット底の手指感覚、ウォーキングストロークを理解する。 分岐部プローブの操作を理解する。	シクルスケーラー、グレーシーキュレット、ユニバーサルキュレットの構造を理解する。 キュレットの把持法、固定、挿入・操作角度、ストローク方法を理解する。	歯牙の形態を理解し、的確に歯石が除去できるようマネキンを用いて訓練する。 グレーシーキュレットの種類について理解する。 ルートプレーニングとプライドメントを理解する。	テストスティックを用いて、鋭利な刃が鈍っている歯が理解する。 スケーラー・キュレットを成形することなく、鋭利な刃を研ぐことができる技術を習得する。
	B5	●インプラントメンテナンス: 歯周疾患重症化予防技術	B6 ●ラバーダム防湿・シーラント	B7 ●エックス線撮影方法と読影	B8 ●食事介助/食生活指導
	インプラント治療の流れについて理解する。 インプラント周囲組織の検査項目・方法について理解する。 インプラントのメンテナンスに用いる清掃道具について理解する。	ラバーダム防湿の種類と器具の取り扱いを理解する。 シーラントの手順と注意点について理解する。 ラバーダム防湿とシーラントをシミュレーションで実施する。	エックス線撮影の補助に関する事項について理解する。 エックス線画像の読影のポイントについて学ぶ。 受講者相互で、デンタル撮影10枚法の撮影方法の実際について学ぶ。	摂食時の口腔機能の協同(協調)動作を理解する。 食事介助における歯科衛生士の役割を理解する。 患者の理解と患者家族と良好な人間関係の確立について学ぶ。	
C 臨床トレーニングプログラム	C1	●歯周組織検査技術相互実習:(プロービング相互実習)	C2 ●歯周疾患予防技術相互実習:(超音波スケーラー相互実習)	C3 ●エアアブレーション(パウダーメンテナンス)相互実習: パウダーを用いた歯面清掃相互実習	C4 ●PMTC相互実習: 口腔衛生管理技術相互実習
		プローブの把持法、プロービング圧、ポケット底の手指感覚、ウォーキングストロークを理解する。 歯石探知用エクスプローラーを用いて、歯石等の歯根面の凸凹を手指感覚で理解する。 受講者相互で、プロービング・エクスプローリング技術の実際について学ぶ。	超音波・エアスケーラーの特徴、使用用途・効果を理解する。 ハンドピースの持ち方、チップの操作方法について習得する。	パウダーの種類と特徴を理解する。 受講者同士で、エアアブレーション技術の実際について学ぶ。	歯面清掃に用いる機械やチップの種類を理解する。 歯面清掃に用いる研磨剤の種類・特徴を理解する。 受講者相互でPMTC技術の実際について学ぶ。 メンテナンスにおけるフロスの施術方法を習得する。
	C5	●口腔内写真撮影相互実習	C6 ●口腔衛生管理	C7 ●口腔咽頭吸引	C8 ●訪問診療
		規格性のある口腔内写真5枚法が撮影できるよう習得する。 相互実習で口角鉤、口腔内ミラーの取り扱い、カメラのファインダーの合わせ方等、口腔内写真撮影に関する知識・技術について学ぶ。	ベツトサイドでの口腔衛生管理の基本的な知識を理解する。 口腔粘膜・舌の清掃方法の技術を修得する。 病態に合わせた口腔衛生管理計画を立案する。	歯科衛生士の喀痰吸引における法的な背景を理解する。 喀痰吸引方法について理解する。 吸引カテーテル使用の基本的な技術を修得する。	口腔健康管理時の体位調整の技術を修得する。 病態に合わせた口腔健康管理の手法を習得する。 各種清掃用具の特徴を理解し、口腔内の状態にあわせて選択する。
C9	●口腔機能管理技術相互実習	C10 ●摂食嚥下リハビリテーション(直接訓練・間接訓練)			
	摂食・嚥下機能に関連する器官の役割を理解する。 摂食・嚥下機能の検査を実施するための基本的な技術を修得する。 チーム医療の中で歯科衛生士が行う口腔機能管理について理解する。	摂食・嚥下リハビリテーション方法(間接訓練・直接訓練)を理解する。 摂食・嚥下リハビリテーション方法(間接訓練・直接訓練)の技術を修得する。 摂食・嚥下機能の検査結果から摂食・嚥下リハビリテーションの計画立案ができる。 経口摂取支援の方法を理解する。			
D 臨床研修プログラム	D1	大学病院見学(感染予防対策)	D2 大学病院口腔健康科見学	D3 大学病院歯周診療科見学	D4 大学病院口腔インプラント診療科見学
		広島大学病院の各臨床診療科を見学し、針刺し・切創、粘膜・皮膚損傷に伴う血液・体液曝露事故による職業感染防止対策と事故後の対応について理解する。	大学病院口腔健康科における診療を見学し、患者への口腔衛生指導法の実際について学ぶ。	歯周診療科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。	咬合・義歯診療科、口腔インプラント診療科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。
	D5	大学病院小児歯科診療科見学	D6 大学病院矯正歯科診療科見学	D7 大学病院障害者歯科診療科見学:	D8 大学病院口腔外科診療科見学
		小児歯科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。	矯正歯科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。	障害者歯科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。	顎口腔外科、口腔顎顔面再建外科における歯科衛生士業務を見学し、組織の役割や機能を理解する。
	D9	大学病院周期口腔機能管理見学	D10 ●口腔健康科患者対応1(口腔健康管理)	D11 ●口腔健康科患者対応2(口腔衛生管理):	D12 高齢者施設見学
		周期口腔機能管理の現場を見学するとともに、患者の疾患や状態に合わせたケアの方法について学ぶ。	歯ブラシおよび歯間ブラシを用いた歯垢除去法と義歯の取り扱い法の実際について学ぶ。 担当患者の歯科衛生計画立案から記録(歯科衛生業務記録)までについて学ぶ。また、その基本となる歯科衛生過程について理解する。	フロッシング法とフッ化物塗布法の実際について学ぶ。スクレーピング法と機械的歯面清掃法(PMTC)の実際について学ぶ。 自己評価および他者評価により自己の課題を見つける。	高齢者施設を見学することにより、要介護高齢者の口腔衛生管理・指導法および高齢者施設における多職種連携の実際について理解する。
D13	高齢者施設見学	D14 在宅療養実施歯科医院見学	D15 在宅療養実施歯科医院見学:	D16 歯科医院見学	
	高齢者施設を見学することにより、要介護高齢者の口腔衛生管理・指導法および高齢者施設における多職種連携の実際について理解する。	訪問歯科診療を実施している歯科医院を見学し、在宅療養患者や高齢者施設の入所者に対する口腔衛生管理や多職種連携について理解する。	訪問歯科診療を実施している歯科医院を見学し、在宅療養患者や高齢者施設の入所者に対する口腔衛生管理や多職種連携について理解する。	歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の実際を見学するとともに、患者対応や物品管理方法等、他の歯科衛生業務について学ぶ。	